

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------------------|----|-----------|
| ○事業所名 | 療育支援工房 飯倉教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 1月 23日 ~ 2026年 1月 31日 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 38 | (回答者数) 10 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 1月 23日 ~ 2026年 1月 31日 | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 3日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 事業所全体が広く、生徒さん一人一人のスペースを確保出来ていること | ・トイレや学習室に行くまでの導線を塞ぐことを防止するための机を配置している。 ・生徒さんがぶつからないように、玩具ごとの遊び場所を決めている。 | 遊ぶ玩具の種類や人数に応じて、机の配置を変えたり、遊ぶ場所を広げたりしていく。 |
| 2 | 学校との情報連携が密にできていること | ・生徒さんのお迎え時に、学校での様子を伺い、異変などあった際は職員間で共有を行っている。 ・送迎方法(駐車場所・お迎え場所・到着時間など)を都度確認を行い、送迎時のトラブルを事前に防いでいる。 | ・学校での様子に加えて、こちらからも工房での様子をお伝える。 ※保護者様から要望があり、了承を得ている場合のみ ・下校時間について変更の有無や、行事ごとのお迎え場所の変更などを都度こちらから確認していく。 |
| 3 | 月ごとに季節を感じることが出来るイベントの起案 | ・イベント起案時は、他教室のエリアや直近のイベントの内容と被ることが無いように工夫を行っている。 ・クッキングイベントの起案時は、アレルギーの生徒さんに留意しながら、起案を行っている。アレルギーに該当する材料があれば、代替できる材料を探し、保護者様に確認を行っている。 | ・イベントを通じて、集団行動を体験したり、季節を感じたりできるように起案を意識していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供すること | ・多くの卒業生が、引っ越しや生徒さんが自立したことにより放課後等デイサービスのご利用する必要がなくなったという理由が多い為。 | ・今後、障害福祉サービス事業所などに移行することになった場合は、情報連携を図っていく。 |
| 2 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない | ・生徒さんが来室した後は、基本的に事業所内で学習の取り組みや余暇時間で遊んで過ごしていただいている為。 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会は作ることは難しいが、SSTでの学習や外出イベントを通して、対人コミュニケーション能力を伸ばしていく。 |
| 3 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっていないこと | ・プレイルーム、学習室の2つの部屋しかないため | ・必要に応じて、パーティション等を活用し、1人の空間を作っていく。 ・どちらかの部屋に他の生徒さんがいない場合は、職員間で連携を図り、1人で過ごすことが出来るように工夫を行っている。 |